

会議録

会議の名称	西東京市図書館協議会 平成22年度第1回臨時会
開催日時	平成22年4月15日（木曜日）午後4時から6時まで
開催場所	中央図書館会議室
出席者	委員：浅野委員、一方井委員、吉田豊委員、服部委員、鈴木委員、小西委員、大澤委員 事務局：奈良館長、石川副館長、山川庶務係長
傍聴者	0名
議題	1 協議会評価について 2 その他
会議資料の名称	1 平成22年度図書館協議会日程 2 図書館事業評価（21年度） 3 平成21年度総括表 4 事業評価指数作成表 5 事業評価指数作成表 別表 6 西東京市図書館だより 第37号
記録方法	<input type="checkbox"/> 全文記録 <input checked="" type="checkbox"/> 発言者の発言内容ごとの要点記録 <input type="checkbox"/> 会議内容の要点記録
会議内容	
<p>○会長： 時間になりましたので、図書館協議会第1回臨時会を開催します。 今年度最初の協議会ですので、始めに館長からあいさつをお願いします。</p> <p>○館長： 平成22年度になりまして、事務局で人事の変更がありましたのでお知らせします。 前館長の定年退職に伴いまして、新館長が就任し、奉仕係長が副館長と兼務になりました。</p> <p>○会長： 議事に入る前に、事務局から今年度の日程を決めてほしいとの申し出がありましたので、皆さんの予定を検討して決めたいと思います。</p> <p>○館長： 今年度は定例会4回と臨時会2回の開催予定です。又11月頃に見学を予定していま</p>	

す。別添資料「平成22年度図書館協議会日程」のとおり予定を立てましたので、具体的な日時について皆さんの予定を検討して決定します。

○会長：

前回の会議録について確認していただき、これで良ければ承認いたします。

議題に入りまして、本日は協議会評価のまとめになります。平成22年3月末の統計に基づいて作成した資料をもとにして評価を進めていくこととします。「事業評価指数作成表」について説明をお願いします。

○館長：

資料の説明は副館長が行います。「事業評価指数作成表」のデータは3月31日現在のものとなっています。それをもとに「平成21年度総括表」を事業別にまとめました。事業実績と図書館評価ということで、図書館の評価を加えました。「図書館事業評価（21年度）」で、基本指標の平成20年度、平成21年度と、5つの重点事業について書きました。

○副館長：

重点事業から説明します。基本指標は、市民1人当たりの蔵書冊数等について、平成20年度実績と平成21年度実績を並べています。重点事業に対する進捗状況は、図書館基本計画・展望計画の推進と事業評価について等5事業が取り組んだ状況を報告しますので、内容について協議していただきたい。

○会長：

何か質問はありますか。

○委員：

(3) レファレンスサービスの拡充について、「専任の担当者を配置」とあるが今まではレファレンス専任の担当者はいなかったのですか。

○副館長：

前年までは、一般書担当者が兼務していました。21年度からは専任のレファレンス担当者を配置し、担当者が休みの時は、私が代わってWebレファレンスの受付等の作業を行っています。

○会長：

専任職員を置いていることは評価します。Webレファレンス受付が6ヶ月間で23件というのは少ないように感じますが、調査内容はどのようなものですか。

○副館長：

クイックレファレンスも入っていますが、時間がかかる調査もあります。主だった事例は、図書館ホームページで公開しています。

○会長：

WebレファレンスのPR強化は重要だと思う。図書館に来たることができない人に、図書館の効用を示す前向きな体制作りだと思います。

○委員：

(2) 第二期図書館管理システムの運用について、自動貸出機の作動率は上がれば良いといえるものでしょうか。図書館サービスを受ける側から言うと、これを伸ばしていくことが必ずしもベストの状態ではないと思います。

○館長：

ICタグ資料管理システム導入による、費用対効果で言えば作動率が上がるのが望ましいと考えます。カウンターでの待ち時間が少なくなったという大きな効果があります。

○委員：

進捗状況は、計画について取り組んで、実施できたことはできたとし、少し足りなかったことは来年度以降やりますといった形にした方が、図書館の取り組みが分かってよいと思います。

○館長：

取り組んでできたことの到達状況と、今後の課題を書くこととし、文章の書き方を変えて再度提出します。

○委員：

基本指標で、破損本を廃棄したということだが、基準はどうか。又何冊廃棄したのでしょうか。

○館長：

水濡れや汚れ等で読む時に不快になる本や、書き込みや切り抜きで修理不能の本や雑誌は、廃棄して買い換える等の対応をしています。年間約3万冊程度を廃棄します。

○会長：

続いて平成21年度総括表について、説明をお願いします。

○副館長：

平成21年度総括表1から17までの事業について、図書館評価（一次評価）を読み上げます。

○会長：

気が付いたところで質問・意見を出してください。

○委員：

総体的に見て、AとCがひとつずつで、残りがすべてBというのは、評価の程度にも

よるが安易なように感じます。

○館長：

事業計画にある施策事業を概ね達成した場合をA、一部達成の場合をB、事業の進展が見られない場合をCとしたのでこのような評価になりました。

○委員：

現時点で良くやっているとすればAで良いと思う。西東京市の他部局で実施している評価方法にある程度合わせた方が良いのではないかと思います。

○館長：

行政評価の場合は、5段階で評価しているので、それに合わせることも考えてみます。

○会長：

評価については、5段階で行うということでよいですね。内容について質問・意見はありますか。

○委員：

3 図書館の情報システムの整備について、ICタグの評価は、蔵書点検のスピードが速まった等、有効に活用していることを強調すべきであると思う。

○委員：

図書館は実施したことをやったという立場で書けばよい。効果があった部分を評価する。現実にサービスを行っているのだから悪い評価というのはいりえないと思います。

○会長：

全体の文章の書き方を考えて書いてください。修正したものを4月28日までに送ってください。それに意見を付けて5月2日に持ち寄って協議することとしたいと思います。

本日の協議会はこれで終了いたします。